會津ばんだいさん大くづれえんなくし

一　さひわいにほんで なもたかき　あいづばんだいの おてさわぎ　きくもかたるも をそろしや

二　ふもとわごかむら そのほかふ　ろくりよほうの さわぎにて　そくしのかづ〳〵 やづしれの

三　みるもをそろし このさわぎ　ばんだいさんわま ふきやぶれ　したよりくハいえんが もいあがる

四　よふもどごくハ あるものよ　これがとうくハつ じごくかこ　くるしぞひとのま ありさまハ

五　いやにどごくが おれべとて　このとぎで三十 ろくかむら　いちごにはなうの くるしみで

六　むごいものだよ ばんだいの　そうじのひと〳〵 だいそこに　かわいやそのかづ 百五十にん

七　ならくのそことハ このことよ　つまやこどもの あるみでも　しかめもおわづて あのよのわかれ

八　やまハくづれて のまとなる　のまハむまりて やまとかなる　いしハくだけて どやりとなる

九　こんまれない をゝさわぎ　いしハてんより ふりくだる　したよりほなうが もいあがる

十　とゞろくだいゞハ ひやくはちの　やみなりさまのま ごごくにて　いきたところの ひとわかなし

十一　せいばら なゝかわ こがわまで　すいろハ ふさがり でんばたも　みづだめ こばりも みなつぶれ

十二　にわかの さわぎの ことなれバ　をやこ ちりぢり にげいたす　いのち おつての ものがたり

十三　さん〴〵 くづれし そのころハ　七月 なかばの 十五日　ごぜん はちじも すぎしころ

十四　しほう はつぽうハ くろけむり　ちやうちくるいまで みなごろし　みのけも よだつる ばかりなり

十五　ごたいも ちゞまる をそろしさ　つまこに わかるゝ かなしさハ　をやに わかるゝ おわれさよ

十六　ろく十 よしうハ ひろくとも　ばんだい さんのま をゝさわぎ　みるも おわれの かぎりなし

十七　しかし ひとつの ふしぎあり　ひばら むらにて ひとりその　としハ 八十で をばゞさん

十八　はるの ころより いつぴきの　いのを だいじに かいをけバ　このお ごおんを をくらんと

十九　くびを かたげて このいのハ　ものわ いわねど めでしらす　そでを くわいて つれてよく

二十　にわかの だいなん まのがれて　うれしや ぶちやと をばゞさん　こんな さわぎが よにあろか

明治二十一年七月十六日印刷
仝　年七月十九日出版
編輯兼發行者印刷兼　新潟縣中蒲原郡白根町
[illegible]百九十二番地
岡田[illegible]松